

ラピッドテスト FLUスティックsp 操作方法

HELLO KITTY

©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. G 604397



ラピッドちゃん®

SEKISUI

体外診断用医薬品
承認番号23000EZ00045000

キットの中身を確認しましょう

検体希釈液 (10本)



テストスティック (10本) 綿棒 (10本) 試験管立て (1個)
(容器の中にあります)

検査の前に用意しましょう



手袋

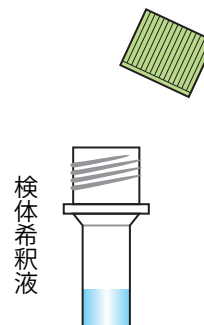


タイマー

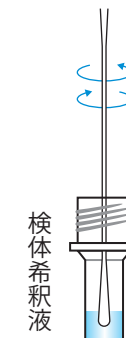


感染性廃棄物
処理用ごみ箱

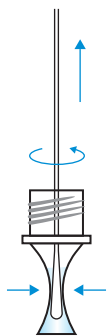
1 検体希釈液容器の蓋を開けます。



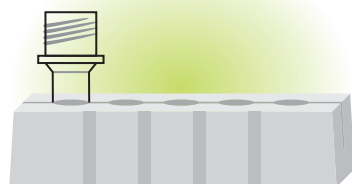
2 検体希釈液に、鼻腔ぬぐい液、鼻腔吸引液又は咽頭ぬぐい液を採取した検体(綿棒)を入れ、内壁に沿って回転させます。



3 綿棒を検体希釈液に入れ、回すようにして検体を抽出します。綿棒をチューブの上から指で挟み、綿棒内の検体をよく搾り出します。

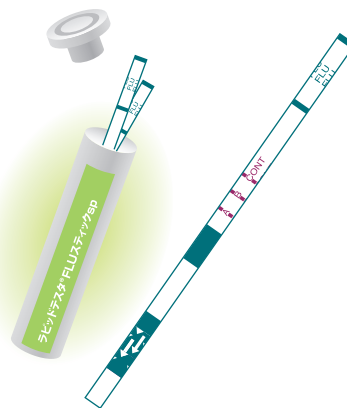


4 検体を抽出した検体希釈液の容器をキット付属の試験管立てにセットします。

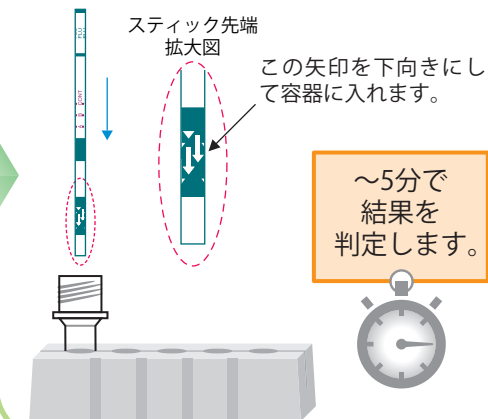


試験管立て

5 テストスティックを缶から取り出します。



6 テストスティックを検体希釈液容器に入れます。



~5分で
結果を
判定します。

キットで使用の際には添付文書をよくお読みください。測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果などと合わせて担当医師が総合的に判断してください。

ラピッドテスト FLUスティックsp

測定結果の判定法

HELLO KITTY
©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No.G 604397

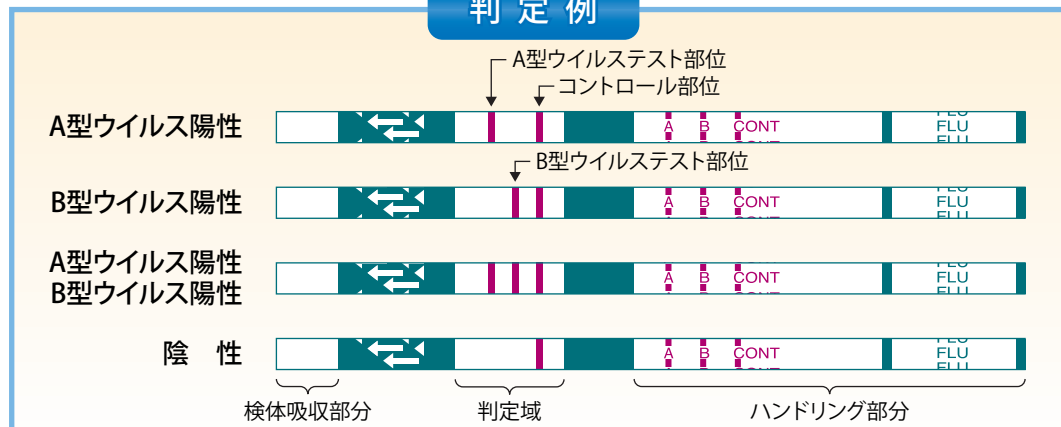


ラピッドちゃん®

SEKISUI

体外診断用医薬品
承認番号23000EZ00045000

判定例



無効例

① 判定域のコントロール部位にラインが認められない。



② 判定域全体が着色して、反応ラインやコントロールラインが認められない。



5分より以前にA型コントロールラインと陽性ライン(A型、B型又はその両方)にラインが認められた場合、その時点で陽性と判定することができます。

注)5分以内に一方の陽性ラインが認められた場合でも、もう一方の感染を否定するものではありません。

よくあるご質問

Q：コントロールラインとテストラインの一部に欠けが見られるが、どう判定すれば良いですか？

A：コントロールライン及びテストラインの一部に欠けが認められたり、破線となる場合がありますが、有効なラインと判定します。



Q：反応ラインに白いラインが見える場合は、どのように判定すればよいのでしょうか？

A：テストスティックに含まれる空気が検体の流れと共に移動し、抗体塗布部(ライン部)前で溜まることで白く見えるものと考えられます。判定には影響がありませんので測定を継続してください。

Q：結果が無効の場合はどう対処すべきでしょうか？

A：もう一度検体を採取して別のテストスティックで再検査してください。

【重要な基本的注意】 ・インフルエンザウイルスの感染の診断は、本品による検査結果のみで行わず、他の検査結果及び臨床症状を考慮して総合的に判断してください。
・咽頭ぬぐい液を液体とした場合、鼻腔ぬぐい液、鼻腔吸引液に比べ、一般的に検出率が低い傾向がありますので、検体の採取法にご留意ください。

「ラピッドテスト」は積水メディカル株式会社の日本における登録商標です。